

火災・事故防止に資する防災情報提供シート

防災情報の種類(：火災)爆発,漏洩,その他 No. 010811009

件名：コンテナセミトレーラのタイヤ火災

【事象概要】

トラクタおよびセミトレーラでタンクコンテナを積載し、ETCゲートを通じたところ、乗務員がセミトレーラに違和感を感じた。次のサービスエリアで止まって確認点検をしようとするまま約500m走行したところで後方より異音が生じた。バックミラーでセミトレーラ後部から出火しているのを発見し、直ちに左路肩に止まって車載の消火器で消火を試みたが、手におえず消防に通報した。タンクコンテナに亀裂や漏洩はなく、中の製品に引火することはなかった。

参考写真(絵図)



【事象の原因】

車輛の焼損状態から、後軸左右のタイヤのホイールが、ブレーキドラムの過熱により温度が上昇し、タイヤバーストして、その後タイヤから発火したと思われる。その火が他のタイヤ及び積載したコンテナにも延焼したと思われる。

【再発防止対策】

タイヤホイールの過熱は駐車ブレーキからのエア漏れが原因と考えられるので、次の対策をとった。

- ・ 3ヶ月点検表、12ヶ月点検表、日常点検表にエア漏れチェックの項目を追加記入し、確実に実行することとした。
- ・ 駐車ブレーキであるスプリングチャンバー内ダイヤフラムの亀裂が原因のひとつと推測されるので、メーカー推奨交換時期には確実に交換するよう整備会社も含め意思統一した。
- ・ 車輛メーカーからも全国の利用者、整備会社に対し、取扱説明書やサービスニュースなどで、交換時期や点検方法の周知を行なうよう申し入れた。
- ・ 車輛メーカーとして、引き続き技術的に知らせる方法を研究し、早急に導入できるように申し入れた。